



平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫は、2023年3月1日に創立70周年を迎えることができました。

今日までの長きに亘り金融事業を通じ労働者自主福祉運動に邁進できたのも、会員や勤労者の皆さまをはじめ、地域の方々のご理解とご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。引き続き、70周年記念事業として「これまでの感謝を、これからの未来へ。」を合言葉に皆さまへ感謝の気持ちを伝え、未来を志向した取組みを進めてまいります。

また、2022年度は第4期中期計画『Connect R70』（2021-2023年度）の中間年度であり、「初年度の成果と創立70周年記念事業の相乗効果」のもと、誰一人取り残されることの無い持続可能で勤労者が安心できる社会の実現に向け「会員・勤労者の“つながり”」を拡げる取組みを進めてまいりました。預金・融資の伸長をはじめ、中期計画の目標達成に向けて着実に歩みを進めることができたのも、会員や勤労者の皆さまの格別なるご支援とご協力のおかげであり、心より感謝を申し上げます。

さて、勤労者を取り巻く環境は依然として厳しく、先の見えない不安な状況が続いています。このような環境下だからこそ、2023年度は「協同組織の福祉金融機関としての役割発揮」、「人生100年時代を見据えた資産形成の支援」、「事業継続・発展に向けた事業基盤の確保」が課せられた課題であり、お客様に選択いただける福祉金融機関としての役割発揮がこれまで以上に求められているものと思います。加えて、創立70周年という節目をターニングポイントに、次の10年20年、さらにその先の運動へつなげていく新たな出発点となるよう、役職員一同、会員の皆さまと心ひとつに未来へと進んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、本年もディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

2023年7月

理事長 増田 泰孝

## 第4期中期計画 2021年度～2023年度

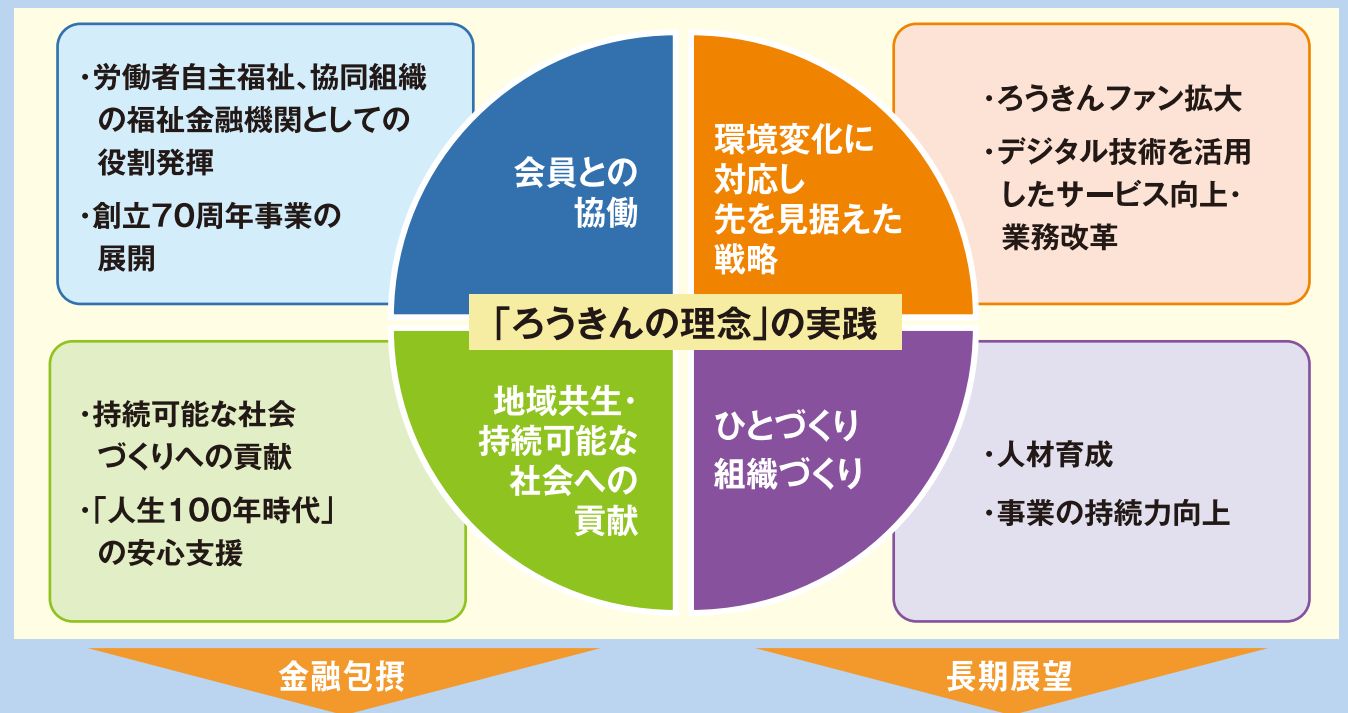


### ～〈ろうきん〉の役割発揮で人と人、社会をつなぐ～

- ▶ 格差や孤立を生む社会への不安に対し、協同組織の福祉金融機関である〈ろうきん〉は、勤労者が安心できる持続可能な社会づくりのため、会員・勤労者の“つながり”をさらに強め、助け合いの輪を社会に拡げます。
- ▶ 〈ろうきん〉は引き続きお客様本位の業務運営に徹し、どこよりもやさしい(優しい・易しい)金融機関を目指すことで、会員とともに「ろうきんファン」の拡大につなげます。
- ▶ 今日までの70年成長し続けてきた運動と事業を、感謝とともに未来へつなげます。



### ～基本戦略～ (概略)



「ろうきんの理念」の実践と第4期中期計画の重点課題への取組みを通じてSDGs達成に貢献します。

### 静岡ろうきん「長期展望」～10年後の目指す姿～

- ◆ 唯一の勤労者福祉金融機関、団体を会員とする協同組織の特性を活かした事業運営で、会員、間接構成員はもとより、勤労者、非営利・協同セクター、事業主、行政等、勤労者福祉を志向する関係者に必要とされる存在であること
- ◆ 「人生100年時代」において、勤労者が一生涯にわたり、もっとも安心・信頼して利用できる存在であること
- ◆ 持続可能な社会づくりに貢献し、社会から認められる存在であること